平成 25 年 2 月 5 日

各　　位

会社名　　宇 部 興 産 株 式 会 社
代表者名　　代表取締役社長　竹下道夫
（コード番号　4208　東証第１部・福証）
問合せ先　　ＩＲ広報部長　　坂本靖子
（TEL.　03-5419-6110）

堺工場におけるカプロラクタム生産停止及びそれに伴う特別損失計上のお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり堺工場におけるカプロラクタムの生産停止を決議いたしました。また、これに伴い平成 25 年 3 月期において特別損失を計上いたしますので、お知らせいたします。

記

1.　生産停止の理由

当社は昭和 30 年に、繊維や樹脂用途として幅広く利用されるナイロンの原料である、カプロラクタムの製造・販売を開始し、品質の高さと安定供給力に対する顧客からの高い評価をもとに事業を拡大し、宇部、堺、スペイン、タイの４工場によるグローバルな供給体制を築いてまいりました。

ところが、昨年に入り、世界景気の減速により需要の伸びが力強さを欠くなか、中国を中心として新規メーカーの参入や既存メーカーの増設が相次いだことで、カプロラクタム市況は大きく崩れ、一方で原料となるベンゼンや副原料などの価格高騰もあり、カプロラクタム事業の採算は急速に悪化いたしました。

当社の製造拠点のなかでも堺工場のカプロラクタム製造設備は、製法や、LNG に依存する副原料・スチーム等のユーティリティにおいて、他の３工場と比べて製造コストが高く競争力に劣るため、かねてより当社ではさまざまな収益改善策を検討、実施してまいりました。

しかしながら、昨今の事業環境の変化はこれら改善策によって対応可能なレベルを超えており、将来にわたって採算改善が見込みがたい状況であることから、同設備については一定期間の操業後に停止し設備廃棄することが、事業全体の競争力強化のためには最善との判断に至りました。また、同設備停止に伴い、関連する同工場内の誘導品等の製造設備も合わせて停止し、廃棄いたします。

今後、堺工場はリチウムイオン電池用の材料など、付加価値の高い機能材を中心とする生産拠点として強化を図ります。

なお、停止予定の設備で生産しております各製品につきましては、他の当社製造拠点から供給するほか、顧客の皆様の代替調達先確保に最大限の協力を行ってまいります。

また、従業員の雇用は、堺工場で今後生産拡大を予定しているリチウムイオン電池用セパレーターをはじめとする機能材分野への配転などにより確保します。

2. 停止・廃棄設備の概要

・ 対象設備及び生産能力	カプロラクタム	100,000 ㌧/年
	アンモニア	200,000 ㌧/年
	液化炭酸	99,000 ㌧/年
	硫安	160,000 ㌧/年
	1,6 ヘキサンジオール	5,000 ㌧/年
・ 停止予定日	平成 26 年 3 月末	

3. 特別損失の内容

上記により、平成 25 年 3 月期決算において、連結及び個別で 126 億円の特別損失を計上する予定です。この特別損失には固定資産の減損損失のほか、現時点で見込まれる既存設備の廃棄に伴う諸費用などを全て含んでおります。

なお、このうち固定資産の減損損失 26 億円は、本日発表いたしました平成 25 年 3 月期第 3 四半期決算に計上しております。

4. 今後の見通し

上記特別損失の業績に与える影響につきましては、本日別途発表いたしました平成 25 年 3 月期の業績予想に織り込み済みです。

以　上